

# マークをつくらう

[5歳児]

マークなににする？



私もかきたい！

トイレのマークにしよう

「てを」だから  
次は「あ」！



〈手洗い〉



〈トイレ〉

〈紙のリサイクル〉



こっち向きで  
いいかな？



〈絵本棚〉

どんな絵本の  
マークにする？

出来たマークは保育室内外に掲示中



あそこ見て！  
矢印あるよ！



〈教具室に入らない〉



〈水を出しっぱなしにしない〉

『マークのずかん』という本を見ていた子供たちが、「このマーク見たことある！」「幼稚園来る途中にあるで！」「お店で見た！」などと話す姿が見られたので、学級全員で見てみることにしました。その後、全員で園内のマークを探し、園内だけでも個人マークや保育室の表示、AEDなど身の回りにたくさんのマークがあることに気付くことができました。マークについて話し合っていくうちに、マークにも用途に合わせた絵があり、字が読めない人や外国人もマークならわかるからではないだろうかという子供たちなりの結論にたどり着きました。保育室を見回すと、個人のマークは多いものの、全体のマークは多くないことに気付いたので、「どんなマークがあればいいかな？」「誰が見ても分かるマークはどんなマークかな？」とグループ毎に話し合っマークづくりをしました。「トイレのマークないからトイレのマークは？」「先生の部屋（教具室）に入る人いるから、入ったらダメのマークにしよう」「折り紙はリサイクル箱にいっぱいあるからリサイクルのマークがいい！」など、各グループで意見を出し合いながらつくることができていました。出来上がったマークはどこに掲示すればよいかも、子供たちが決めて掲示しています。日常生活の中に様々なマークが溢れ、子供たちは自然と目にしています。「このマークはどんな意味なんだろう？」「なんのためのマークなのかな？」とふとした時に考えたり知り得た情報を誰かに伝えたりすることが、これから生きていく子供たちにとって大切な学びの芽につながるのではないかと思います。